



1. 心臓に関する疾患

2. 生活習慣病

3. 睡眠時無呼吸症

4. 土曜日診療

当院の
特徴です

ホームページ



診療予約



2019年10月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

休診日 午後休診 18時最終受付

診療時間

午前9時半～午後1時、午後3時～午後6時半

住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL: 03-3639-3110 FAX: 03-3639-3112
休診日: 月曜日午後、土曜日午後、日曜祝日

<今月の予定>

- 10月1日(火) 消費税10%
- 10月1日(火) クレジットカード決済開始
- 10月1日(火) インフルエンザ予防接種開始
- 10月8日(火) 地域健康講座 14:05~14:50
- 10月10日(木) 18時最終受付
- 10月14日(月) 体育の日・クリニック休診
- 10月22日(火) 即位礼正殿の儀・クリニック休診



<お知らせ>

- ・10月1日より消費税が10%となります。保険診療は変わりはありませんが、自費診療・健康診断では一部料金の変更がございます。不明な点はスタッフへおたずねください。
- ・10月1日から当院でもクレジットカード決済が可能となります。しばらくは、VISA、Masterのみですが、将来的には主要6クレジットカードと交通系のICカードも対応可能となる予定です。
- ・10月1日よりインフルエンザの予防接種が開始となります。当面は予約なしでも可能ですが、予約もできるように対応しておりますので是非ご利用ください。
- ・10月より、当院が入居しているメディカルプライム日本橋小伝馬町にて地域健康講座が開始となります。私は毎月1回講演会を行います。今月は10月8日(火)で、インフルエンザについてお話いたします。お時間のある方は是非起こしくください。

「ベネズエラのオーケストラ」

厳しい暑い夏も終わり、随分と涼しい日が続くようになりました。「スポーツの秋」、ということで日本ではラグビーのワールドカップで盛り上がっている今日このごろだと思いますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

今年の体育の日は10月14日でしたが、昔は10月10日が体育の日と決まっていた。10月10日は1964年の東京オリンピックの開会式だったことから体育の日と決められましたが、夏のオリンピックにしては随分と寒いような気がするの自分だけでしょうか？昔は水泳も外で行われていたと思うと、随分と寒い中で泳いでいたんだなあと感じます。

秋と言えば「芸術の秋」ということで、今月は(も?)クラシック音楽のことを少しお話ししたいと思います。ベネズエラのオーケストラといってもピンと来ない方も多いかもしれません。南米のベネズエラは世界で最も貧困で犯罪の多い国として知られていますが、実はオーケストラ活動が盛んなことでも有名です。

今から40年以上前1975年にベネズエラの故アブレウ博士が「音楽の社会活動」としてエル・システマを設立して、最貧困層で犯罪の多い地域で楽器演奏を教えることから始まりました。この地道な運動は徐々にベネズエラ全土に広がり、今では30以上の子供のオーケストラが設立され学生の70-90%が貧困層の出身です。

私が初めて彼らの演奏を耳にしたのは10年以上前のFM放送でした。聞いたことのない団体がマーラーの交響曲第5番を演奏していたのですが、立派な演奏で大変驚いたのを覚えています。そのオーケストラがベネズエラの若者の団体であることを知ってさらに驚いたのですが、当時は「エリート養成所」みたいなオーケストラだろうと思っていたのです。しかし、その後彼らのドキュメンタリーを観て本当に感銘を受けました。オーケストラで楽器を弾いている若者たちはエリートでもなんでもなく、みな貧困の家庭で育てており、犯罪者や麻薬中毒者たちがいる街中を通して集まって楽器を練習しているのです。また幼い子供たちは段ボール紙で親が作った楽器を手に小さなオーケストラを作り、音楽に合わせて弾くということで音楽を楽しんでいるのです。その演奏会を観に来る親たちの何と嬉しそうな顔！我々日本人が子供たちを育てているのと全く変わりはありません。音楽を通して社会を変えたいというアブレウ博士の高尚な精神に心を打たれました。

感心したのは 彼らの演奏が単なる「ノリ」で演奏されたものではなかったことです。彼らにとっての最大の目標は国内のオーケストラから選抜された「シモン・ポリバル・オーケストラ」のメンバーになることですが、このオーケストラはアバド、ラトルら世界超一流の指導を受けており、その演奏法はヨーロッパの伝統に裏打ちされています。この「シモン・ポリバル」のメンバーが地元のオーケストラでその奏法を後輩たちに丁寧に教えているのです。このためベネズエラの若者の演奏は実にヨーロッパ的、ドイツ的な演奏です。このことは今ではベネズエラ出身の演奏家がベルリンフィルをはじめとしたヨーロッパの一流オーケストラに続々と入団していることから分かります。

彼らはベートーヴェンもマーラーも実に生き生きと演奏し、クラシック音楽の素晴らしさを再認識するとともに、このような若者を育てたアブレウ博士の精神と教育の素晴らしさに心を打たれます。

ベネズエラはここ数年はさらに政治的・経済的に混迷を極めており大変な状況なようですが、音楽を志す若者たちへ影響が及ばないように願っています。皆様も時間がありましたら、YouTubeなどでシモン・ポリバル・オーケストラの演奏を視聴してみてください。音楽に国境がないことを再認識するはずですよ。

Happy HALLOWEEN



文責 齋藤 幹

